



翔洋通信

翔洋学園高等学校
広報部編集
令和5年3月発行

校長より —自分の歩みに確かな自信をもって、次のステージへ！—



各学習センターの令和4年度卒業証書授与式が、卒業生の笑顔とともに、無事終了しました。やっとマスクを外した姿が見られるようになり、一人ひとりの思いを感じながら卒業証書を手渡すことができ、感無量でした。

卒業生に一番伝えたかったメッセージは、「歩みの速さや道程は違っても、自分で決めた道を、自分の力で、精一杯歩いてほしい！」ということ。これは、そのまま、在校生の皆さんにも贈りたいエールです！

まずは、今年度の自分の学びと成長をしっかり感じ取ってください。他人との比較ではなく、自分の目と心で実感することが大切です。それが、きっと、次のバージョンアップにつながる大きな糧になります。「いけてた！やれてた！」自分に自信をもって、次のステージに向かいましょう。

校長 石田 進

令和4年度卒業証書授与式挙行 —未来への一歩—

令和4年度、翔洋学園高等学校を1,289名が巣立ちました。今年度の卒業生はまさに新型コロナウイルス感染症の影響でもどかしい日々が続いた学年でしたが、そのような状況を乗り越えながらたくましく過ごしてきたように思います。各学習センターの開催日と式場、卒業生の人数等については、以下の通りです。このうち、いくつかの卒業証書授与式の様子を卒業生や教員のコメントと共にお届けします。

3月1日(水) 千葉学習センター	92名	三井ガーデンホテル千葉
2日(木) 土浦学習センター	88名	ホテルマロウド筑波
3日(金) 古河学習センター	63名	小山グランドホテル
6日(月) 水戸学習センター	79名	ホテルレイクビュー水戸
7日(火) 日立本校	49名	ホテル天地閣
8日(水) 下館学習センター	40名	ホテルニューつたや
9日(木) 山形学習センター	77名	ホテルキャッスル
10日(金) 会津学習センター	80名	会津若松ワシントンホテル
13日(月) いわき学習センター	96名	パレスいわや
14日(火) 柏学習センター	98名	柏の葉カンファレンスセンター
〃 ネットキャンパス	47名	〃



日立本校

卒業生代表の生田目諒さんは、挨拶の中で3年間を振り返り、「友人たちの励ましや先生方の丁寧なサポートのもとで何とか諦めずに困難を乗り越えていくことができた」と述べ、卒業後は「社会人として今まで以上に頑張っていきたい」と強い決意を語ってくれました。【教員より】ご卒業おめでとうございます。教職員一同、卒業生の皆さんがそれぞれの舞台で大きく羽ばたいてくれることを心から願っております。

古河学習センター

【教員より】御卒業おめでとうございます。皆さんは、コロナ渦の中で卒業式までを過ごし、今まで誰も経験してこなかった大変な学生生活を乗り越えて卒業を迎えることができました。この経験があれば、これから苦難があっても、きっと活かし乗り越えられるはずです。どんな道を進もうとも、自分で選んだ道なら間違いではありません。その経験が、皆さんを強くしてくれます。卒業後も、心より応援しています。



千葉学習センター

卒業生代表の渡邊真優さんは、挨拶で「翔洋学園高校での思い出を胸に、そして翔洋学園高校の生徒であったことに誇りを持って歩いていきたいと思います。」と宣言してくれました。【教員より】人生で起こることすべてが一生涯の財産です。心から応援してくれる人たちがいることを忘れないでください。



会津学習センター

【教員より】卒業生の皆さん、コロナ禍という制限の下、めげずに出来ることを見つけ、よく頑張りました。多様なクラブの立ち上げ、マスク寄付等のボランティア活動や地域協働活動のエコバック作り。また「アート」から広がる教育活動等は言うなれば「明日力」です。皆さんはこのセンターの空間、もしくは時を同じくして社会の中で素晴らしい経験をしたと思います。本当によく頑張りました。これからの人生をどうぞ幸せに歩んでください。



いわき学習センター

ご卒業おめでとうございます。卒業生代表の吉成唯さんは、挨拶で「翔洋学園で過ごした日々は誇りであり、宝物です。挑戦を忘れず、失敗を恐れず、先に進めるように、そして先生方に会った時、胸を張って自分のことを話せるように頑張ります。」と述べてくれました。【教員より】なぜ失敗し、なぜ成功したのかを振り返り、次に繋げていくことが大切です。全ての経験を糧にしてください。教職員一同、皆さんの更なる成長と飛躍を心より願っています。



各種表彰について —感謝と決意—

今年度、学習やクラブ活動等に尽力した生徒達へ、その輝かしい功績を称え、各賞が授与されました。受賞した生徒から感謝と決意のコメントを頂きました。

日本私立中学高等学校連合会長賞



日立本校 黒澤 天さん

この度は、このような賞をいただくことができ、大変光栄に思います。体調面から外に出ることすらまともにできなかった私が、ここまで成長できたのは翔洋学園高校に入学して自分のペースで歩むことができたからだと思います。インターハイや国体(水泳)など、大会の度に先生方が応援やサポートをしてくださり、本当に嬉しかったです。そのことは私にとって大変大きな力となりました。翔洋学園高校の生徒であったことを心より誇りに思います。本当にありがとうございました。

全国高等学校定時制通信制教育振興会長賞(修学優秀者)



日立本校 望月 咲樹さん

この度は、名誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。翔洋学園高校に入学した頃は、背負いきれない程の不安に押しつぶされそうになっていました。そのような時に励ましてくださった先生方や笑顔で接してくれた友人、いつも支えてくれた家族など、周りの方々のおかげで充実した高校生活を送ることができたと思っています。心から感謝申し上げます。今後も前を向いて歩んでいこうと思います。

全国高等学校定時制通信制教育振興会長賞(クラブ・部活動功労者)

会津学習センター 渡部 ななほさん



先生方や両親、地域の方々、これまで本当にお世話になりました。これまでセンターにおいて地元の良さを再発見する経験をしてきたこともあり、高校卒業後は職業能力開発短期大学校に進学します。この学校では、観光業・サービス業に求められる知識と実践技術を学ぶことができます。他にも社会人になる基礎的な心構えや礼儀作法も学べます。将来は人と関わる仕事をし、地域の魅力を広められる仕事をしたいと考えています。経験を積み重ね、自信が持てる社会人になりたいです。

高校生新聞社賞

水戸学習センター 川又 千世さん



この度は、高校生新聞社賞という素晴らしい賞を頂き光栄です。私は小さい頃から歌を歌う事が大好きで、オペラに出会ったのが9歳で本格的に学び始めたのが12歳でした。中学、高校とコンサートやコンクールに出演、出場させて頂き私にとって凄く貴重で幸せな時間でした。大学でも沢山の音楽に触れ、学び、そして歌と人生を共に歩んでいきたいと思っています。



進路決定 —喜びの声—

様々な思いを胸に入試や就職活動に挑んだ3年次生。進路決定までのエピソードを綴ってくれました。



私は高校1年生で、体調不良のため全日制の自動車科から、翔洋学園高等学校に転入しました。一番の思い出は修学旅行です。山形からは1人の参加でしたが、共通の趣味を持つ友達と巡り逢えました。大阪で一緒に本格的なカートに乗り最高の思い出になりました。

就職は元々好きな自動車関係に挑戦し、履歴書を5枚も書き直して苦労しました。内定を得た時の喜びは忘れられません。社長は、旧車(クラシックカー)が好きなので話が合いそうです。4月から社会人。翔洋の卒業生として頑張ります。

山形学習センター 三浦 一輝さん (就職)

高校生活は翔洋学園水戸学習センターじゃなければ楽しめなかったと思います。入学当初は自分の意志で大学に進学しようなんて思っていませんでした。翔洋学園で自分の思うままに自由に過ごし、やりたいこと、挑戦したいことがたくさんでき、大学に進学しようと思えることができました。自分を見つめなおすことができたのは先生方、友達のおかげです。本当にありがとうございました。



水戸学習センター 鶴井 涼乃さん (4年制大学)



私は、2年生の冬頃に翔洋学園に転入しました。幼い頃から美容師になるのが夢でした。そのためレポート、試験に真面目に取り組み指定校推薦で合格することができました。私にとって全日制から通信制に切り替えることは勇気のいる行動でした。でも、今考えてみると比較的自由な時間が増え、やりたいことに時間を費やせるのは通信制のメリットだと思います。春から環境が一変し不安も大きい反面、新しい経験が楽しみです！

下館学習センター 野部 萌絵佳さん (専門学校)

私には、出版にかかわる仕事がしたいという夢があり、4年制大学への進学を決めました。指定校推薦での受験でしたが、大学受験を通して、私は精神的に大きく成長できたと思っています。これは私の為に厳しく面接指導して下さった先生方、いつも見守り、支えてくれた両親のお陰だと感謝しています。大学では、今まで支えてくれた方々への感謝の気持ちを忘れず、高校で学んだことを活かし、何事にも意欲的に取り組み、夢が実現できるよう頑張っていきたいと思っています。



柏学習センター 大越 煌介さん (4年制大学)